

# 赤穂新聞

発行所  
赤穂新聞社  
赤穂市加里屋68の19  
TEL 0791-43-7211  
0791-43-8010  
FAX 0791-43-9101

## 地球をキモチいい家に アース製薬

ルで産廃最終処分場事業説明会を予定するなど攻勢をかけてきている。県はあくまで中立の立場を崩さず、赤穂市も消極姿勢を堅持する中、市民運動の後退は事業者にとってには福音だ。

### 会長不在で組織弱体化

### 産廃業者攻勢へ転換

鶴和・福浦と西有年の産廃最終処分場建設への反対運動を展開する産廃反対赤穂市民の会（18団体）の木村音彦会長が3月末で辞任して後、後任の会長が決まらず、一部の副会長や会計も辞任の意向を示すなど、同会の組織が崩壊寸前に陥っていることが分かった。

同会は、14年10月に鶴和・福浦産廃最終処分場の建設計画が表面化した翌15年2月、市議会や自治会、PTA連合会、赤穂食品衛生協会、観光協会など加盟17団体で発足。当時、自治会が中心となつて結成された経緯もあり、市自治会連合会会長を務める木村氏が会長を兼務した。

活動資金は、寄付を募るもなかなか集まらず、資金繰りに窮した木村会長から一世帯当たり百円の協力を金納めてもらうことに対応。初年度に約百六十万円の会費が集まった。

当初は産廃処分場建設反対のほりや懸垂幕、横断幕等を作成し、産廃問題の専門家を招いた講演会を開くなど活発に活動したが、残る資金が約二十万円と底をつき、昨年3月から5月にかけて再度、自治会員から一世帯当たり百円の寄付を募り前々年と同様の約百六十万円の活動資金を確保した。

そうした中、昨年4月に市自治会連合会の会長が、木村氏から沖知道有年地区自治会連合会長にバトンタッチされたが、就任当初は自治会連合会の職務だけで手一杯となるため、反対の会の会長は木村氏が1年間の約束で暫定的に続け、1年後に新会長を沖会長が引き継ぐ流れとなっていた。

しかし、昨年1年間は会としての活動がほとんど行われず、これに不満を持っていた一部の副会長が会を離脱。木村会長も1年間務めて勇退を決め、中心となつて活動してきた他の副会長も辞任の意思を示すなど、同会は組織体としての維持が困難となつてきた。

また、昨年4月の自治会連合会長の交代時に、1年後に同会の会長を受けるとしていた沖副会長が会長就任をかたくなに拒否し、他の幹部役員に会長就任を持ちかけたものの、産廃事業が活発化する中、会長の大役を受ける役員は皆無で、会は空中分解の様相を呈している格好だ。

西有年・梨ヶ原地区で産廃最終処分場の建設を計画する事業者が、県西播磨県民局に事前協議書を提出するなど、設置活動が活発化する中で、反対の会の活動が事実上の停止状態となつている現状は、産廃業者にとって朗報。

西有年で設置を計画する東洋開発工業所と大泉

環境が、県との事前協議を活発に進める一方、20日午後2時から兵庫興英建設が文化会館小ホールで産廃最終処分場事業説明会を予定するなど攻勢をかけてきている。

#### 赤穂美術協会展 18日から文化会館

市内のアマチュア画家らが丹精込めて描いた秀作を出品する「第38回赤穂美術協会展」が、18日（20日まで）文化会館展示室で開催される。

今展は15名の会員が描いた20×150号の大作15点と4×10号前後の小品15点の計30点の油絵やバステル画が展示される。

同会会長の塩田康雄さんの「室津港」をはじめ明石隆之さんの「池畔への道」、田中繁雄さんの「少女」、廣門幸三さんの「春寒の小路」など風景画や人物画、抽象画など多様な作品が並ぶ。

展示時間は午前10時から午後6時まで。最終日の20日は午後5時に閉展する。入場無料。

が掲載を躊躇（ちゅうちよ）した。市では「県内23市町でくらしの便利帳を手がけるサイネックス社と提携

クリプト対策で紫外線処理設備を発注

赤穂市が民間企業のサイネックス社と協働してくらしの便利帳が3

### 赤穂市と民間が協働編集

赤穂市が民間企業のサイネックス社と協働してくらしの便利帳が3月に完成し、4月から5月初旬にかけて全戸配布されている。忠臣蔵など赤穂市の歴史や自然、名所、ミニシアムから祭り、名産物の紹介をはじめ、市役所案内や行政の様々なサ

## 航難が選任が会長

### 反対の市民の会

### くらしの便利帳配布

し、無料で市民に配布できて喜んでい」と話している。今後の発行は未定という。

市立図書館は、今月26日から8月まで3回シリーズで開催する絵本講座「絵本の中のふしぎ」隠された意図」の受講者を募集する。

図書館絵本講座  
受講者30名を募集

関西福祉大学教育学部の金沢緑教授を講師に迎え、26日に「雲や虹、魚や動物のふしぎ」▽6月16日「音や光、あじやにおいのふしぎ」▽8月11日「花や虫、木の実やキノコのふしぎ」と題した講演を聴く。時間は午後1時半から3時。

受講は無料。定員は30名。対象は市内在住、または在勤、在学の人。託児希望者は事前に申し出ること。問合せ、受付は同図書館（43-0275）で先着順に受付。定員になり次第締め切る。

ガイドから市役所案内、防災、火災・救急、広報・広聴・相談、戸籍・住民票・印鑑登録、税金、保険・年金、健康・医療介護・福祉、子育て・教育、住い・暮らし・環境文化・スポーツ・生涯学習、農業・商工業、議会選挙と行政のあらゆる分野を紹介した。

史や自然、名所、ミニシアムから祭り、名産物の紹介をはじめ、市役所案内や行政の様々なサ